中学校国語科における１人１台端末の活用シーン×StuDX Style

【出典】令和４年度　全国学力･学習状況調査報告書【中学校／国語】

授業アイディア例　考えの根拠が明確になるように情報を引用して書く

教　材

● 令和４年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語2（改変）

※　本アイディア例では、調査問題の【意見文の下書き】に下線部を書き加えて、小林さん、石田さん、山口さんのコメントを追加したものを用いています。

学習の流れ

❶ 学習の見通しをもつ。

教師：自分の考えが伝わる意見文にするために、本やウェブページなどから資料を引用することがあります。今日は、【意見文の下書きとコメントの例】を使って、引用の際に気を付けることを考えてみましょう。この例では、筆者である小林さんが、意見文の下書きをグループの人に読んでもらい、コメントをもらって文章をよりよくしようとしています。まず、石田さんと山口さんがどのようなコメントをしているか、確認してみましょう。

【意見文の下書きとコメントの例】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なことが増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取り除く作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことを喜んでいる祖父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入れていない。」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。**例えば、農林水産省の資料によると「作業の自動化で人手を省くことが可能に」なったり、「作業の記録をデジタル化し、誰でも生産活動の主体になることが可能に」なったりすることに加え、「農作物の生育を予測し、高度な農業経営が可能に」なったりすることが示されている。**しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちも意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

上野
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないでしょうか。

中村
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

小林
農林水産省の資料を引用して書き加えてみましたがどうでしょうか。

石田
様々な情報が書き加えられたので、根拠がはっきりしたと思います。

山口
作業を自動化すること以外の効果を取り上げたのはよいですが、「　　」で引用している部分が資料の文章とは違っています。

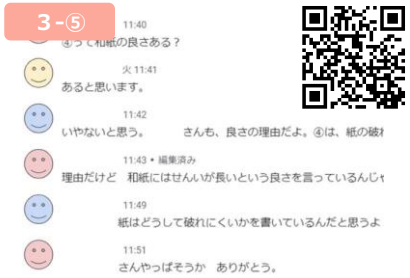
❷ グループで【意見文の下書きとコメントの例】を読み、石田さんと山口さんのコメントについて検討する。

❸ 各自でノートに修正案を書き、グループで交流する。

❹ 学習を振り返る。　　（一部省略）

【StuDX Style関連事例】

コメント機能を活用した学び合いの活性化



チャット機能で情報共有

【使用するソフト（例）】

OS標準の文書作成ソフト	Pages	ドキュメント	Word

その他、チャット機能等のコミュニケーションツールを活用することも可能です。

意見文を書く際には、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にすることが大切です。根拠を明確にするためには、まず、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめることが必要です。また、分かりやすい文章にするために、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことも大切です。その際、読み手は、書き手の目的と意図を理解した上で、単なる印象ではなく、具体的な記述を取り上げて助言などをすることが重要です。

意見文などの文章を書く学習場面で、１人１台端末を活用し、文書作成ソフトを使うことで、構成の検討や推敲が手書きよりも手軽にできるだけではなく、検討の過程を記録に残すことができます。また、**読み合って助言する際にコメント機能を活用することで、双方向のやりとりを繰り返すことが容易**になります。教師も、検討の過程の記録やコメントの履歴を見て、それぞれの**生徒の学習過程を確認することができるので、個別の指導を丁寧に行うことが可能**になります。

文部科学省 StuDX Styleウェブサイト https://www.mext.go.jp/studxstyle/（令和４年10月）